

平成 25 年 10 月 23 日

各 位

国際石油開発帝石株式会社  
経営企画ユニット  
調査・CSR グループ  
(電話 03-5572-0231)

【CSR トピックス】

オーストラリア北部準州遠隔教育支援校への寄附金の拠出について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社がオペレーターを務めるイクシス LNG プロジェクトとして、オーストラリア連邦北部準州の遠隔地における高等教育を提供する学校（Northern Territory Open Education Centre、以下 NTOEC）の校舎建設・移転費用にジョイントベンチャーパートナーと共同で 300 万豪ドル（約 3 億円）を拠出することといたしましたので、お知らせいたします。

北部準州政府における重要な教育機関のひとつである NTOEC は、北部準州の遠隔地に住む 10 年生～12 年生（日本の高校 1 年生から高校 3 年生に相当）までの生徒 500 人を対象に遠隔高等教育・研修プログラムを提供しており、この度の寄附金は NTOEC の校舎施設の改良・拡張に充当される予定です。

イクシス LNG プロジェクトは、北部準州の社会的・経済的な持続可能性に貢献する教育、職業訓練、雇用創出といった取り組みに重点を置いており、この度の寄附は、2010 年に行ったララキア職業訓練校の建設費用として 300 万豪ドル（約 3 億円）の寄附や北部準州チャールズ・ダーウィン大学内オーストラリア北部石油・天然ガス研究センターの設立費用として 300 万豪ドル（約 3 億円）の寄附に続くものです。

なお、NTOEC の新校舎の設立は 2016 年半ばを予定しております。

以上



教師による生徒の地元訪問



遠隔授業の様子

## イクシスLNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、沖合生産・貯油出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なLNGプロジェクトです。

当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に本プロジェクト最終投資決定を行いました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。